

所要額（変更所要額、実績額）調書

（分娩施設名： _____）
 単位：円

メニュー名	総事業費 (A) 産科医等確保支援事業の総事業費	寄附金その他の収入見込額 (B) 産科医等確保支援事業に対する寄附金など	差引事業額 (C) (A)より(B)を差し引いた額	対象経費の支出(予定)額 (D) 年間の手当等の総支給(予定)額	基準額 (E) 10,000円に当該年度の手当の支給対象となる分娩又は帝王切開件数(予定)及び医師数(上限2人)を乗じた額	選定額 (F) (D)と(E)を比較して少ない金額	補助所要額 (G) (C)と(F)を比較して低い方の金額に3分の1を乗じて得た額(1,000円未満の端数切捨てた額)	補助交付決定額 (H) 所要額調書の場合には、記入は必要ありません。	差引増減額 (G-H) 所要額調書の場合には、記入は必要ありません。
産科医等確保支援事業 (分娩手当等)									
帝王切開手当等加算									
計									

注1 変更所要額調書の場合には、変更前の額を上段に括弧書きし、変更後の額を下段に記載すること。

2 市町が申請する場合も、分娩施設毎に本調書を作成し、交付申請書（様式1号）には補助所要額の合計額を記載すること。

<設定>分娩件数 600件/年
 帝王切開件数 10件/年 の医療機関の例

様式第2号 (用紙 日本産業規格A4横型)

所要額 (変更所要額、実績額) 調書

(分娩施設名: ○○産婦人科医院)
 単位: 円

メニュー名	総事業費 (A)	寄附金その他の収入見込額 (B)	差引事業額 (C)	対象経費の支出(予定)額 (D)	基準額 (E)	選定額 (F)	補助所要額 (G)	補助交付決定額 (H)	差引増減額 (G-H)
	産科医等確保支援事業の総事業費	産科医等確保支援事業に対する寄附金など	(A)より(B)を差し引いた額	年間の手当等の総支給(予定)額	10,000円に当該年度の手当の支給対象となる分娩又は帝王切開件数(予定)及び医師数(上限2人)を乗じた額	(D)と(E)を比較して少ない金額	(C)と(F)を比較して低い方の金額に3分の1を乗じて得た額(1,000円未満の端数切捨てた額)	所要額調書の場合には、記入は必要ありません。	所要額調書の場合には、記入は必要ありません。
産科医等確保支援事業(分娩手当等)	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	6,000,000	5,000,000	1,666,000		
帝王切開手当加算	810,000	0	810,000	810,000	200,000	200,000	66,000		
計	5,810,000	0	5,810,000	5,810,000	6,200,000	-	1,732,000		

様式第3号及び様式第3号の2の記載内容一致させる

申請時には記載不要
 ※変更申請及び実績報告の際は記載が必要です。

注1 変更所要額調書の場合には、変更前の額を上段に括弧書きし、変更前
 2 市町が申請する場合も、分娩施設毎に本調書を作成し、交付申請

帝王切開件数×医師数(上限2人)×10,000円
 医師が1人なら100,000
 医師2人以上なら200,000
 <例の計算>
 7件×2人×10,000円 + 3件×2人(上限)×10,000円 = 200,000円
 日中体制分 夜間体制分